

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 8月 3日 更新

事務事業名		市道改良事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	米澤俊一
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	塩崎 史
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	工務班	(内線)	2244
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 3	事業連番 11508	法令根拠	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ⑦	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 22 ~ 27 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志市道路を整備する事業で、生活道路の充実・拡充を図るため検討の結果、合併後から事業開始となった。若原線改良事業・中央校線改良事業・辻久保小合志線改良事業・拾八町笹原線改良事業・みずき台1号線交差点改良事業・参宮線改良事業・下群2号線改良事業・建山2号線改良事業・小塚8号線改良事業・南屋敷線改良事業・永熊本建山黒石原線改良事業・若原3号線改良事業・黒石原15号線改良事業・黒石新開線改良事業・須屋陣の平線歩道整備事業・大摩ヶ原線改良事業・黒松上生線排水事業・須屋線取付道路整備事業・長岸線改良事業・(仮)原水・竹迫線道路新設事業・立割東線改良事業の改良事業です。  事業開始時期において各路線は通学路・生活道路であるが安全施設等の未整備であった。尚、H22年度から事務事業統合により市道改良事業に上記路線を登録する。
【業務の流れ】	関係機関協議、測量設計、不動産鑑定業務、用地交渉、登記、支払、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払
【主な予算費目】	委託料、公有財産購入費、補償補填及び賠償金、工事請負費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	地域住民及び道路利用者から道路拡幅や歩道整備の要望がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	関係機関協議、不動産鑑定業務、用地交渉、登記、積算、工事発注、現場監督、中間・竣工検査、支払	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	→ ア: 施工延長 イ:	(単位) m 予算の主な増減の理由 歩道未整備箇所や幅員狭小・舗装破損等により、車両や歩行者の通行に支障をきたしている箇所について、地域住民より要望が上がっており、早急な対応が必要のため整備延長増による増額です。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	主要市道	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	渋滞がなくなり、スムーズな通行ができる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 事業進捗により整備率がわかる		(単位) % → ア: 整備率 イ:
		総トータルコスト 全体計画 ~27年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア	m	0	6,224	982	914	1,520	3,217	1,095	2,432	
② 対象指標	ア	m	0	31,340	9,178	9,178	9,178	9,178	9,178	9,178	
③ 成果指標	ア	%	0	56.4	9.96	9.96	26.52	61.57	73.5	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円		147,500	189,300	11,400	347,400	263,800	269,200	171,300
		その他	千円				704				
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円		12,497	10,600	112,296	36,600	14,200	14,300	9,200
		(A) 事業費計	千円	0	159,997	199,900	124,400	384,000	278,000	283,500	180,500
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	11	10	10	10	10	10	10
延べ業務時間		時間	0	5,515	600	4,116	4,116	4,116	4,116	4,116	
(B) 人件費計		千円	0	22,721	2,472	16,620	16,957	16,957	16,957	16,957	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	182,718	202,372	141,020	400,957	294,957	300,457	197,457	

事務事業名	市道改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	--------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 年次計画を策定し、予算額と調整を行ない進める。用地交渉難航部分において地権者のご理解・ご協力を求め集中的に交渉する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果は事業が完成しないと発揮できない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市道改良においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 用地買収及び工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト縮減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているため削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本事業を完成させるためには、用地買収等の重要な事業が残っている。正職員以外の職員は担当できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域はもとより市民の通行利用もあることから、公正であると判断できる。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 用地買収等は個人情報等により住民・地域には出来ない

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

すべての要望にこたえることは物理的に困難であるが、かといって地域の要望を抑えることはできないので、必要性、地域バランスをより一層考慮しなければならない。  
地域住民をはじめ近隣通行者の利便性や交通の円滑化が図られることから、必要な事業であり継続は妥当である。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						